

## 第12回(2019)オホーツク網走フィルムフェスティバル(略称:網走映画祭)

### 第1回(令和元年)映画コンペティション 応募要項

#### 1. 背景と目的

オホーツク網走フィルムフェスティバル(以下、「網走映画祭」と称す)は、北海道網走市において毎年1回開催しており、高倉健主演・石井輝男監督の“網走番外地シリーズ”をはじめ、北海道・オホーツク・網走のロケ作品など地域ゆかりの映画、様々なジャンルの国内外の秀作映画を上映している。

この網走映画祭は、映画上映のほか、映画関係者による“映画対談”、映画監督と短編映画をつくる“映画教室”、映画人との交流会、地元食材を活かした“屋台”の出店など、観客、映画人、住民という三者の出会いの場を提供することで、映画(映像)文化に親しむ環境を創出して映画ファンの裾野を広げ、地域を豊かにすることを意図している。

新元号の本年、12回を数える網走映画祭までに、新たに、実行委員会において広く映画(映像)作品を公募して入賞(ノミネート)作品を公表し、映画祭当日、相応しい賞を与えることにより、映画人の新しい才能の発見・奨励を図り、国内外におけるエンタテインメント映画の質の向上に寄与する。

#### 2. 応募条件

- a) 2018年1月1日以降に完成した作品であること。網走映画祭以外の発表・未発表は問わない
- b) 自主制作作品を基本とし、出品応募者のプロ・アマは問わない
- c) 作品時間  
短編は20分以内、中・長編は20分を超える作品とする
- d) ジャンルは、ドラマ、アニメーション、CG、ドキュメンタリーなど問わないが、独創的な作品が望ましい
- e) テーマ・キーワード(項目)  
テーマは、特に問わない  
「北海道」「網走」ゆかりのキーワード(項目)がある作品は、エントリーシートに記載すること  
※例:「北海道」「網走」で撮影(ロケ)、「北海道」出身の俳優を起用するなど
- f) 権利関係  
出品作品は、音楽・原作・脚本など、作品上映に関わる権利を全てクリアしていること
- g) 上映の無償許諾  
出品作品の本編全編は、網走映画祭における上映の使用許諾を無償で承諾するものとする  
また、映画祭終了後も、実行委員会が企画する上映・イベントに関し無償の使用許諾を承知すること。
- h) 第12回網走映画祭(令和元年11月29日~12月1日の予定)に監督が参加できることが望ましい(参加出来ない場合は、関係者の参加が望ましい)

#### 3. 応募申込方法

次の4点を実行委員会事務局まで送付してください。応募時の本編素材・資料等は、返却しません。応募の詳細は、公式ホームページ(<http://abashiri-filmfes.com/>)にてご確認ください。

- a) エントリーシート  
※公式ホームページからダウンロードし、作品名・監督名など必要事項を記載してください  
※「北海道」「網走」ゆかりのキーワード(項目)がある作品は、その内容を記載してください
- b) 応募作品本編を収録した審査用DVD(NTSC方式)、ブルーレイまたは動画ファイル  
※タイムコードやSAMPLE表記の入った素材は不可とする  
※DVD、またはブルーレイは、合計2枚お送りください  
※動画ファイルはDropboxなどのファイルストレージでお送りください  
YoutubeやVimeoなどアップロードされた動画ファイルはそのアドレスをお送りください
- c) 応募作品の内容とチラシ(ポスター)及び監督の経歴  
※応募作品の内容と監督の経歴の書式は自由であるが、WARDまたはEXCEL形式のデータが望ましい  
※チラシ(ポスター)の書式は自由であるが、紙面のほか、PDF、AI、JPEG形式のデータが望ましい  
※チラシ(ポスター)が未作成の場合はメインカットも可能とする
- d) 1作品につき短編は3,000円、中・長編は5,000円の郵便為替(審査・事務手数料として)  
※郵便為替には宛名等は何も記入しないでください

#### 4. 募集期間

令和元年7月1日（月）～8月26日（月）まで ※実行委員会 事務局 あて必着

#### 5. 選考

網走映画祭で公式上映される入賞（ノミネート）作品は、本映画祭の「審査委員会」が決定する。  
選考結果は、令和元年10月上旬までに、Eメールにて応募者に通知する。

#### 6. 審査委員会

実行委員会が招聘する国内映画界の見識者及び地元有識者による「特別審査員」と「第一次審査員」により構成して審査し、入賞（ノミネート）作品のほか、各賞を決定する。

【審査員】 ※敬称略

▼特別審査員 →第一次審査を通過した作品を審査し、入賞（ノミネート）を選出します

- ・伊藤俊也（映画監督） ※審査員長
- ・瀬戸恒雄（プロデューサー）
- ・本田隆一（映画監督）

▽第一次審査員 →全作品を審査し、入賞（ノミネート）候補を絞りこみます

- ・三ツ橋勇二（映像ディレクター）
- ・浅沼直也（映画監督）
- ・辻 凪子（女優・映画監督）
- ・小澤ちひろ（シンガーソングライター）
- ・松原美里（保育コミュニケーション協会 代表）
- ・オホーツク網走フィルムフェスティバル実行委員会

#### 7. 表彰

審査委員会は、審議によって以下の賞を決定し、授与する。  
入賞（ノミネート）作品は、10月上旬に発表し、入賞（ノミネート）以外の各賞は、網走映画祭当日に発表する。

##### ◆短編コンペティション部門

\*入賞（ノミネート）＝5作品（予定） ※「網走映画祭」正式招待（出品）作品

a) 北斗七星賞（Big Dipper award：グランプリ）＝1作品

※最優秀作品として完成されており、広く奨励できるもの  
賞状、賞金＝20万円（予定）

b) ニポネ賞（Nipone Award（Citizen prize））＝1作品

※優秀作品として秀でた要素があり、一石を投じるもの ※北海道・網走賞（準グランプリ）  
賞状、賞金＝10万円（予定）

c) 極寒賞（Extremely cold prize award）＝1作品

※良くも悪しくもインパクトのある作品、特異な（桁外れでも）面白いもの ※インパクト賞  
賞状、賞金＝5万円（予定）

※賞金は、クラウドファンディングの結果により増減することがありますのでご了承ください

◆中・長編コンペティション部門

\*入賞（ノミネート）＝5作品（予定） ※「網走映画祭」正式招待（出品）作品

a) 北斗七星賞（Big Dipper award：グランプリ）＝1 作品

※最優秀作品として完成されており、広く奨励できるもの  
賞状、賞金＝20万円（予定）

b) ニポネ賞（Nipone Award (Citizen prize)）＝1 作品

※優秀作品として秀でた要素があり、一石を投じるもの ※北海道・網走賞（準グランプリ）  
賞状、賞金＝10万円（予定）

c) 極寒（奨励）賞（Extremely cold prize award）＝1 作品

※良くも悪しくもインパクトのある作品、特異な（桁外れでも）面白いもの ※インパクト賞  
賞状、賞金＝5万円（予定）

※賞金は、クラウドファンディングの結果により増減することがありますのでご了承ください

8. 招待

各コンペティション部門に入賞された作品の監督1名は、第12回網走映画祭に招待し、滞在に必要な斡旋ホテルの宿泊費（朝食付）は、実行委員会が負担する。

9. 作品の送付先・問合せ

〒093-0033 北海道網走市駒場北3丁目4番17号  
オホーツク網走フィルムフェスティバル実行委員会 事務局  
TEL/ FAX： 0152-44-1363 E-Mail：mghmg346@yahoo.co.jp  
<http://abashiri-filmfes.com/>

10. その他（予定）

第12回（2019）オホーツク網走フィルムフェスティバル（網走映画祭）  
令和元年11月29日（金）～12月1日（日）  
会場：エコーセンター2000